

令和2年度 自己評価結果公開シート

社会福祉法人専勝会
あゆみ保育園

保育園は社会的役割を担っており、常に向上心を持つことが大切です。

当園では、毎年保育士・調理師が及び係わるすべての職員の自己評価を行っております。自己チェック表に基づき振り返りを行い、課題を見つけ、一人一人の質の向上を目指しています。

さらに、その結果を公表することにより保護者との対話の重視・保育内容の充実・地域に根ざす等、社会に開かれた保育園として、研鑽に励みます。

評価項目の達成・取り組み状況・これから改善したいこと

評価項目	取り組み状況
1.運営管理	方針は、あまり理解できていない人が多いが、運営についてはおおむね理解できている。今後、理解できるよう努めなければならない。
2.保育の内容	保育計画は担任が作成しており、担任はもちろんよく理解しているが、担任以外は理解できていないクラスもあったようだ。職員全体で情報共有できることが必要である。自然と触れ合う保育が足りなかったという反省もあった。
3.健康及び安全	健康・安全への配慮はよくできている。
4.保護者支援	担任はよくできているが、担任以外は保護者とあまり接する機会がないようだ。保護者に対する支援に気をつける。
5.職員の資質向上	研修等には、積極的に参加している、しかし支援の必要な子どもも増えていて、その子達の専門的な知識を得る機会はコロナで減り、なかなか勉強できない。もう少し、子どもの年齢や個性に応じたことばかけや対応の仕方が必要だと思う。今後も質の向上に向けて取り組まなければいけない。

保育実践における保育の気づきとふりかえり

- ・ 色々な要因で戸外遊びや散歩が少なかった。
- ・ 食事については保護者との連携がうまくいき良かった。
- ・ 子どもたちは思った以上に早く動けたり、よく覚えたりできたので製作等もっとスムーズにできたと思う。
- ・ 先生たちと話し合いができ、保育がすすめられた。
- ・ 担任の得意・不得意が保育に出てしまった。忙しい時とゆとりがある時の差も子どもへの影響が大きかった。
- ・ 頭では分かっている、実際には達成できていないことも多かった。指導計画も全体的なものになり、一人ひとりの状態をふまえたものではなかった。
- ・ 音楽発表会と生活発表会が一緒の為、2つの発表会分の内容の練習が大変だった。
- ・ 発達の気になる子に対して、どう接していいのかわからなくなる時がある。とても悩んだので知識を得たい。
- ・ 一人ひとりの子どもに対する言葉かけが足りなかった。勉強不足だと思う。
- ・ 0・1才の合同保育でも、のびのびと活動できるよう考えていかないといけないと思う。
- ・ 子どもの年齢に応じた、ことばかけや対応の仕方が必要だと思う。
- ・ 保護者に対する支援に気をつけ、職員同士の情報共有が必要だと思う。
- ・ 自分の振り返りを心掛けている。衛生面・問題発生・コロナ関連・嘔吐下痢等にきちんと対応するよう今後もしていかなければいけない。

全体として

- ◆ 心にゆとりを持ち、職員が連携して園全体で協力し合える雰囲気が作れるよう、努力していく。
- ◆ 会議の時間をうまく活用し、情報交換していくよう取り組む。
- ◆ 子どもたちのこと、保護者支援、自分自身を振り返り、衛生面・コロナ対策等も十分に行い子どもの急な病気等にもきちんと対応している。
- ◆ 今後も努力していく。